

バストス週報

第百廿四号
昭和七年七月三日 發行

登録人 森幸一
代行者 バスト自治会 C.P. 25

代誌 一年六十針 外部七十針
發行所 バストス週報社
Rua. Pres. Vargas C.P. 112
及人音 發行 田本 編 織

バストスの平和と連絡の
為めには非一家に一部
の廣告はバストス週報へ。

入植祭の意義

吾々日本に生を享け長らく
祖国を暮した者は誰しもお
祭りの記憶を懐しく追想する
氏神の祭礼盆彼岸諸神社佛閣の祭
典祀元節天長節等国家的な式日正
月雜祭端午の節句招魂祭など数ふ
れば際限の無い程沃山有る祭りが
あつた。そしてそれ／＼郷土的な
色彩や匂が織り込まれ祖国を去つ
て数十年後今尚ほのほのどしたも
のを感ずるのである。言語風俗習
慣或は宗教の異つて居る伯國へ移
住した為め一偏にそのいふ方面の
心の魅めを失つてしまつた何となく
淋しさやもやもやを感じた。勿論
伯國にも宗教的国家的なお祭りな
ス夕も数多くあるけれども都遠き
山奥で農に追はれて大部分の邦人
はそれ等を見聞す機会もなくあじ
気ない歳月を送る人々が多い。

こゝにいふ遷境の中に邦人が入植
祭を樂しむ氣持は理窟抜きに肯定
出来ると思ふのである。長い間
コ口、生活からやと自己の土地と
いふを持ちあはる可く知三同志進隣
に住み度い願ひは邦人植民地の建
設となり、其の村裏の部落建設の
日を記念して土を祝ふことは当然
の習はしであり愛郷心の發露であ
る。その上之を單なる記念日とし
て銘記するに留めず此の日をトし
て道がなる母國への郷愁とするこ
とも日頃の殺風景を匡つ大きな力
となるであらう。入植祭こそは、か
つて母國に在つて味は知らなかつた
農業祭であるよかりか各人移住者
の創作である。日本人以外の民族
でも伯國で植民地を作り記念日を
持つてあらうがその方法等は必ず
しも一律ではあるまい。



バストスの皆様
入植祭お目出度う
バストスが賑やかに
ますと幣巻もマニス賑か
に存ります

入植祭は見物のお帰りに是非
御立寄り下さい
わがバストス移住地も今年才
四回の入植祭を執行し種々を催し
がありバストス人一同挙つて之を祝
ふのは誠に喜ばしい。尚此の入植
祭を一層意義あらしめる為めに他
地方の入植祭に先んじて社會事業
乃至文化運動も企圖し入植祭移住
祭の行事と併行して之を遂行する
標に計畫するにとり慮外してはな
らぬであらう。今之を具體的に
述べる事と避け宿題として提供し
ておく。

入植祭に慰霊祭や敬老を伴ふが
如く、之に宗教的な面を取り入
れた事と考へられる。あらうし永
遠に残る記念物施設物を目論むこ
とも不可ではあるまい
敢て江湖に訴へ識者の發案との
をむものであり

アララギ 月号
入選歌 バストス歌人の部

奥田孤舟

残照はユーカリの葉にきらめきつ
そよ風爽しき日昏一時

東野暁風

移転荷の上より降りて渡場の
朝の汀に皆顔洗ふ

森重羊鈴

吾脱きし靴にとまりて山の蝶
いきする如くに翅をうごかす

一本一男

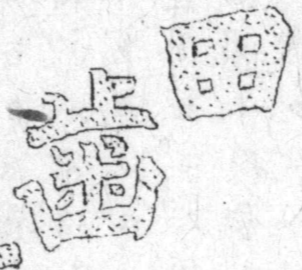
夕焼の血のかきたに黙々と
半群れ動く陽さかへしつ



ドクトール
奥田耕

郵函 3

DENTISTA Dr. T. OKUDA



新しい診療所は

アテナルバース街

一六二番

ロタソン登着研まへ

バル木田さんの上となりです

最新の設備と

最高の技術で

たゞ歩むのみに緊張し息子を手に成れ
ジョンメンテスの廣場横ぎる

吹本苗子

馬耕する吾子の荒々しき声さけけ
農の生計の誇りよ濁きま

森重扶美

初産のやつれ見せせと抱いて
丈に兎抱かせ年始の娘

佐伯明繪

我店の軒のカルサード通る人
一分間に六人を数ふ

小松修水

ある先生の手紙

その中の一節

前畧……終戦後在伯日本人社會は勝った
敗けたのゴタゴタが未だに跡を絶ちませんの
で学校の教師といふ仕事も中々楽でありま
せん。日本語を外国語として子弟に習得
させるといふ氣持に成れるとよろしいのです
が日本精神なるものを拳々服膺して身に
つけさせようといふことになる却って子供の
為めにも事であるかどうか、又第一子弟自
身がどういふものに余り興味を持ってはいな
いと考へられます

然し教育といふものは日本精神を継承せ
しむるが目的也と父兄の大部分が考へている
現状では、あちらこちらで教師の首功りが
あるのも當然な氣がします。一氣の利いた
奴は学校の教師等志望する苦はあり
ません。

従って日本語教授も私塾的にしろ、やるま
りあるまいと思ひますが斯うして吾々が
どうして見ても果して正しい日本語が二世三世
に傳はるかどうが實際心もとない氣が致し
ます。後続部隊の移民が来るかも知れぬ
様な情勢下にありますので、そうなれば余
り心配はいらないでせうが現状の儘でした
ら恐らく日本語は他国では漸次影をひそ
める様になるかも知れません。

愈々入植祭が近付いたので種々準備の事
でせう。入植祭には一度帰り度いと考へて居
ります。云々(後畧)

日本語教育が種々な角度から論議され
検討されて居る折柄知人の一教師から予
の胸中の所感、多分に悔みのある言葉を
聞かされた。今更の如く在伯邦人社會が一樣に
蒙つて居る共通の不幸といふものについて
考へさせられた。

ブラジルの土地に日本の出店を作らうとする
よきな戦前の思想を精算して伯主曰從
不獲職を揚中、先が子弟には葡語をそ
て餘暇には日本語を、といふ立前で進む
ことが正しい道であらうと信する。(M)

小松修水

山形の小松城景に寄る想ひ
「もしかしたら我輩ではないだらうか」

上田平翁

七ころび八を記

しわん 坊 作

手始めは養蚕

愈々渡伯才一歩だ。もし定、投下こまれば、うに一心に念誦を唱へた。其の妻が、あつては線は、ドル券十へ送られた。しかも福井植民地といふ日本村である。元来国粹主義者の平翁が、一番嬉しかつたのは、この村へ来たお蔭で日本語一点張り、お終を習ふ手間は、はなれたこと。次はこの村の人々は、既に養蚕と主作にして、百事であった。日本語の方言は、岐阜訛りだが、中々雄辯で都合によつては、演説の一流の位は、やり度い方だし、日本では、對海の外に波もくぐつて来た経験もある。ので、忽ち頭面をあらわし、バトロンの方でも、こつこつエラ物を、地味に這ひこんで、カルゴをさせるより、日近、日本養蚕技術を、いかんなく發揮して、おらふ方が、村の爲めだと、中々判りがよく、養蚕教師になつて、賞は度いとすすめられた。こつこつが、平翁は教師などやつて、お口をさすより、自今にも、養蚕をやりせてくれといつて、一家こもつて、当分を専らとした。この福井植民地にも、地味園經營は、多くあるが、カボイラオンサと呼ぶ部落に、情流があり、地味であるので、一面の桑園となつて、當時は、カンピナスに、内國絹業會社といふマタラシ系の製糸工場があり、ここの蚕種を入手し、製品は、同社に賣り込みに、なつて、いた。慧眼有平翁は、はやくも、此の地形に着眼し、その部落の養蚕家三十数家族を、説いて、製糸工場を建設することを、すすめたので、ある。ここのが、經濟力の充實して、いない時分だから、資金の点で、思ふように、進捗せず、日本で無理をした、苦い思ふもある。力、除るに、時期を待つことにした。

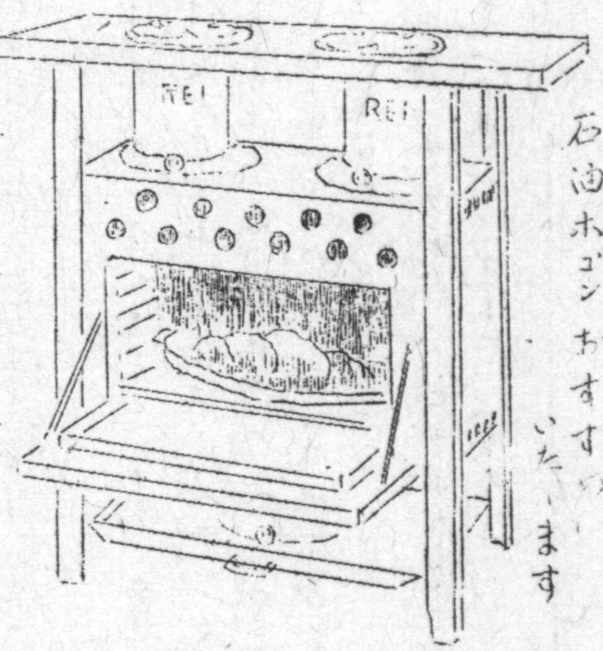
その頃、この部落に、産中、國井商店の、マスカッテを、やつて、いる、瀬尾九門といふ、オッサンが、時々、やつて、来て、ある日、こゝな、話を、した。「この村に、製糸工場、經營の、經驗、家が、居る。相だが、とんや、もの、だらうか、今夜、アラ、ガシヤの、附連へ、製糸会社を、作り、度い、バトロンが、あつて、人を、求めて、居る、のだが」といふ、その、クイケン者といふのは、私の、事だと、名乗り、を、上げて、詳しい、話を、きいた。バトロンといふのは、マタラシの、トンスイル、を、會社の、婿で、マリオ、某といふ、インク、人であつた。日本人の、經驗者、を、一、切

石油・オリ・クレイ兼用の

ホゴン 到着いたしました

レンニヤよりも、うんと安く、石油ホゴンおすすすの、いた、ます

安く、堅牢で、体裁よく、使ひやすい、型は一つ、から、三百、は、いろいろ、あり、ます



三百二十円より三コト迄、宣傳の爲め、特價提供

五人家族で一月使用する油量を、た二十リットル、百圓は一見、に、如かず、実物、おらん、下、さい

取、置、し、印、石油ホゴン、持、約、一、十、販、賣、店、カ、リ、カ、ク、リ、ス、タ、ール

阪東商店

今本洋氏の自殺記事を読み、東野 曉 風

洋君も兄なる人もよく知り、自殺の記事読み心は、潰れ、われも、才、た、君、が、立場、に、あ、ら、ん、と、き、しか、な、す、べ、し、と、ひ、そ、か、に、お、そ、る、の、こ、さ、れ、し、妻、々、子、供、等、思、ふ、と、き、つ、ぶ、や、き、に、似、て、君、と、い、ふ、る

シヤレット、用、タイヤ、新、ハ、荷

ポストセツテ



R.C.A. 印、ビクター、代理店

蓄電池用、電気用、各種、ラジオ、文、洋、通、用、談、に、志、す

今やラジオ時代。ラジオをはじめ文化からあやめ、ます

移民の歌 新津 早丸

カフス花さくニニフラジルは
 千古不えつ の原姑林
 登きけもの住み居し處
 伐りて開きし跡をれや
 コロノ勤めの試練のはてに
 研みあはしたるエンシヤは
 御國の富を依り上げ
 外國にまで輸出する
 あ、ラブラドルの腕のちから
 神の授けい賜ものぞ
 勤の勵みて報ゆべき
 ニレこそ吾等の使命なれ

よく効く

指壓療法とマッサージ

高血壓。 リウマチス。 神経痛
 婦人病。 胃腸病。 肩のこり
 腰痛。 慢性病に適す
 (出張治療もいたします)
 世田谷館横通りをよる

伊藤 知津子

自轉車競走

英國製のフリプス印に限る
 早いこと、軽いこと、つばめの如し
 (耐用品一功揃って居ります)

バザルキング



木林 雜貨店
 アテマルバロス街

- 石油ガスランプ 各種
- ミシンは 福助印と日立印
- 日本製 磁石
- ドイツ製 金物類
- 日本産 大和スイカ種子
- 野添メネモノ
- アルミ製品一功 (ロッセイド印)

其他 贈答品 雜貨何でも揃ひます



委せる、設備高端、建物から機械購入に至る迄その意見を尊重する、その代り日本人の養蚕家、二十家族を世話して繭の自給を計つてくれ、桑園の仕立もやってくれ、月給は多少あえ亦三コントと出すといふのであった、早翁は踊り上った、やはり神様の御利益である、天、おれを捨て給はず、波留いくはくはるくして此の子ヤニスではか逃してなるものかと、もうジニレニテに育つた氣持であつた、

「この子がどこであらう、家族の者が互反對して、ハイ、そんなに行き度分のたう一人で行きなさい、ボンジイアもほんとに言へぬ者が、とうして外人相手に仕事が出来たのですか、痛いところを衝くのであつた、或程後は日本語しか知らんわい、三コントの月給は、のこから手が出る程数、いがか、ベシ、ヤられては、かなわん、何とか一ヶ月で達成で覚えられんのかと思ふ、葉生が名案なく、共方からは早く来てくれと矢の催促である、遂にナジをなけて、トレイルエン会社のヨリオ氏へ首相の印渡と返還に出かけた、何しろ私は日本から来たばかりで言葉が、センはリナシカンカシです、家族もそれを心配して断つて来た、と申しますんで、ハイ……、」
 「上田さん、それをフラジル語でさ、夫人ですか、うまいものじゃありませんか、私がいやかすと、なつに身ぶり手ぶりで萬國信号さといふので笑つた、

「何しろその頃の三コントといへば大金で、運が向いて来た、と残念でならんかった、それから、俺も一生けん命、フラジル語を研ぎ究めて、今日では、ま、どうやら、コモバイにはいへるやうになつたが、悴連しい刺撃を受けたわけで自然と勉強して今では、あんた、フラジル語で俳句を作つたりするよ、になつたよ、」

その話、そのまゝ、立ち消えとなつてしまひ、早翁一家は足かけ三年、福井極氏地で働き、少しばかり、金も出来たのでサンパウロへ出ることにした、と、とうとう一獲上けるには都合をきけれはと考へたからであつた、
 二川が、早翁一家の七難八苦が終るからであるが、(一)と思つてしまつて、(次、早、うう、)

治療器

治入用の方はありませんか

現品 近畿 本社あり

フラ拓事務所移轉

七月十日イナクラソンで披露

フラ拓の移住地事務所は中心市街から悉しくかけはなれ一寸とした閑静にも泊りがけで出掛ける程なので不便がられていたのみならず、廣大なるサロンは其の昔畑中支配人以下三十人ばかりの大小が奇羅星の如く一居流れ流れてたる大偉觀であつたが時移り屋替りニ三の老人が僅かに留居格で残るに列りしよいには崎田青年があの廣々とした室の中を健気に成るるを警戒する有様となつた。

心細くなつた崎田氏は谷口支配人を説いて遂にホストセッテ下階のガラジを改造し、小じんまりとした事務所を作ることに成功した。

七月十日午後三時フラ拓本部より井久保総支配人、川添會計課長、地えより谷口支配人、崎田事務官、吹本銀行支店長、元製糸勤務でお別れの山根課長と顔を見合せ、お各々別は、裏田、田中、石橋、奥田、吉田、重道、霜出、佐藤、水島、長橋、吉川の諸氏。

井久保総支配人の挨拶に「いよいよ谷口氏の奇蹟でシマンパンの乾盃、あとは和氣氣々々前々々翼々々裡に五時散會した。

井久保の提案によるフラ拓移住地の移管の受入態勢強化に端を發し、四つの組合が渡り合ひ精神結合と經濟協調の六ヶ敷に於いて各自の立場から本直を意見が發表された。が此の問題は重要且つ慎重な問題である。

ので輕々に、まこまるものでもなく、時折會合して思案を怠ることを速べることが必要といふ妥協点に達した模様である。

豪華な大シユラスコ

七月十日 セリアマのイナクラソン

セリアマ五人男佐藤の福さん、吉川の馬さん、土多の徳さん、後藤リーさん、古田のよっさん、此の日は向心鉢巻玉禪、姐さん破りの銀座エフロンでハイソくとはかり大ナハス、さしもに廣いセリアマ構内もシユラスコのラッシュアワーのような騒ぎ、花堂席はあ平のものの運成メ、亦三百何十人おかりと列んで乾盃する有様は見事でもあり物すごい有様だつた。

「ん、なうまいシユラスコはえつとをかはい、毎半んにや毎月でんまか」「果けメ、毎月やたらセリアマつづれら」「さあ、何時でも飲んで呉んろ、シユラスコは鉄壁でサハワロのフランシスカリ引いてあるんだ、ものがいやなり不景氣まつても洗つてくれ。」

お写真は

宮崎寫真館

ビル六八

出張の場合は前以て打合せに申出で下さる様お願ひ致します

きつと あなたの御氣に召す 最新型の仕立

迅速・丁寧・正確

Alfaiataria Imperial
Tutomu Maruyama



丸山洋服店

70. バルガス街
早川靴店上隣り

バスター入植祭

のち自慢大成功

すばらしい出来栄とマリリア小林さん
 激賞。。。。。七月十一日夜のにもわい

われこそ栄光の優勝者と一月月二日前から狂練習に
 餘念をかりしのと自慢の出場選手が数千人の觀
 聽衆を前に技を競ふ夜であった。予選をくぐって
 決勝へのステージを踏むことになった十数名、胸をわ
 くわくさせながら喉々と出番を待つ。輕妙なる木西アテ
 ウツナ、面白、おかしく見物のアジルクワッパとあがる
 野次と応援の喊声、かくて場内は昂奮の増場と
 化した。たゞもう酔陶の歡樂境である。
 夜も、ようやく更けて十一時半「成績発表」となる

少年少女の部

- 一位 古賀 栄子さん 得点 六三五
 - 二位 小倉 楠次くん 六二五
 - 三位 黒木 みつ子さん 六一五
- 青年男女の部
- 一位 中村 ちえ子 (中史) 長崎物語 九二〇点
 - 二位 吉本 繁 (中史) 湯の町エレジー 八六五点
 - 三位 伊藤 博 (中史) マリアマリ 八二〇点
 - 四位 木村 鈴美 (中史) 湖底の故郷 八一〇点
 - 五位 西川 伊太郎 (中史) 湖畔の宿 八〇〇点
 - 六位 後藤 みさ子 (中史)

審査委員長小林先生の講評

初めての試みとして大成功であった。聖市ののち自慢
 へ出場しても、さまで見物りせぬばかりか、入賞者の中
 の二三人は、よい素質をもっていて本格的な練習
 をすれば、ゴニア楽壇に立っても相当なる名を博すで
 ありう。歌手諸君共通の欠点は、テノボが正確でな
 いことである。ピッチが歌節の母に上り半拍子以上知ら
 ず、本に高くなっている。これは正確に楽譜について基本
 から練習せねばなりません。

舞台裏では飛入りをしてきてくれと、たゞをこねる
 老人や若い家で大賑ひ
 先づ、大成功裡に第一回をやつて萬々歳である

ウニオンⅡ区。

一區制 結成に漕つく

ウニオンⅡ区に於ては予ねてより一區制復活につ
 き、区民の意見をまとめたつづあつたが、シマカラ
 区の誕生に刺撃され、愈々一氣結成に迫る
 漕かつた模様。七月十二日同区会議にて区民
 總會開催、リ、市長、フヲ拓井久保総支配人
 自治會より橋会長霜去副長とご挨拶に赴く由

大イノ、小サイノ
 タツノ、ヤセタノ
 アイロク
 アリマス




ワタシ病氣、アフロ
 賣りません、バスターで二十年信用サレテ居リマス
 バスター
 市街地 テノル

轉業の爲め
 土地 手放します
 アルト区 の 四九号地二。域も好条件にて、夢り
 便利のよいところ。イアクリには僅か三キロ
 バスター西進九キロ、学校近一キロ半
 オニアス一回数回家の前を通ります
 設備は、住宅14x13の外、鶏三棟あり、二羽を収
 容することが出来ます
 耕作地 十畝余あり、桑園及バスターあり
 御希望の御方は左記へ御照会を乞ふ
 バスター商業事務所内
 出千

ゴム印と木判
 市のみ通り調製いたします
 商社用、事務所用、個人用、いり
 市街文は、スト 島本迄

墓碑製作
 人造石各種、石製製造
 化粧煉瓦、タイル、セメント製品いろいろ
 フ、セツオ、ハルガス街上方
 杉山寅藏



十月一日のお盆に間に合ふ様墓石はお早々
 御注文下さる様願ひ申す
 いろいろの型があり、すぐ成り下す